

千葉市感染症発生動向調査情報

2015年 第47週 (11/16-11/22) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	47週	46週	45週	44週
小児科	18	18	18	18
眼科	4	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市							千葉県
		注意報	11/16-11/22	11/9-11/15	11/2-11/8	10/26-11/1	11/9-11/15		
			47週	46週	45週	44週	46週		
小児科	RSウイルス感染症	○	17 0.94	11 0.61	5 0.28	4 0.22	125 0.93		
	咽頭結膜熱	↓	9 0.50	11 0.61	2 0.11	1 0.06	62 0.46		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		42 2.33	34 1.89	24 1.33	43 2.39	354 2.62		
	感染性胃腸炎	○	128 7.11	86 4.78	69 3.83	70 3.89	661 4.90		
	水痘		13 0.72	9 0.50	18 1.00	6 0.33	64 0.47		
	手足口病		1 0.06	6 0.33	24 1.33	28 1.56	73 0.54		
	伝染性紅斑		16 0.89	14 0.78	9 0.50	13 0.72	75 0.56		
	突発性発しん		15 0.83	15 0.83	17 0.94	11 0.61	67 0.50		
	百日咳		1 0.06	0 0.00	1 0.06	0 0.00	0 0.00		
	ヘルパンギーナ		1 0.06	0 0.00	1 0.06	1 0.06	6 0.04		
	流行性耳下腺炎		10 0.56	12 0.67	6 0.33	9 0.50	101 0.75		
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		8 0.29	2 0.07	2 0.07	0 0.00	28 0.13		
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00		
	流行性角結膜炎	○	9 2.25	4 0.80	7 1.40	12 2.40	32 0.94		
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00		
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00		
	マイコプラズマ肺炎		3 3.00	1 1.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		1 1.00	0 0.00	1 1.00	1 1.00	0 0.00		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00		

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(10件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	60歳代	病原体等の検出	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	10歳代	菌の検出、薬剤耐性の確認及び起因菌の判定等
結核	男性	70歳代	胸水ADA値の上昇		男性	70歳代	
結核	男性	80歳代	病原体等の検出	レジオネラ症	男性	70歳代	病原体抗体の検出
結核	女性	50歳代	IGRA検査等	急性脳炎	女性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状等
結核	女性	60歳代	IGRA検査等	梅毒	男性	40歳代	血清抗体の検出

・結核5件(200)、レジオネラ症1件(12)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(16)、急性脳炎1件(13)、梅毒1件(11)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

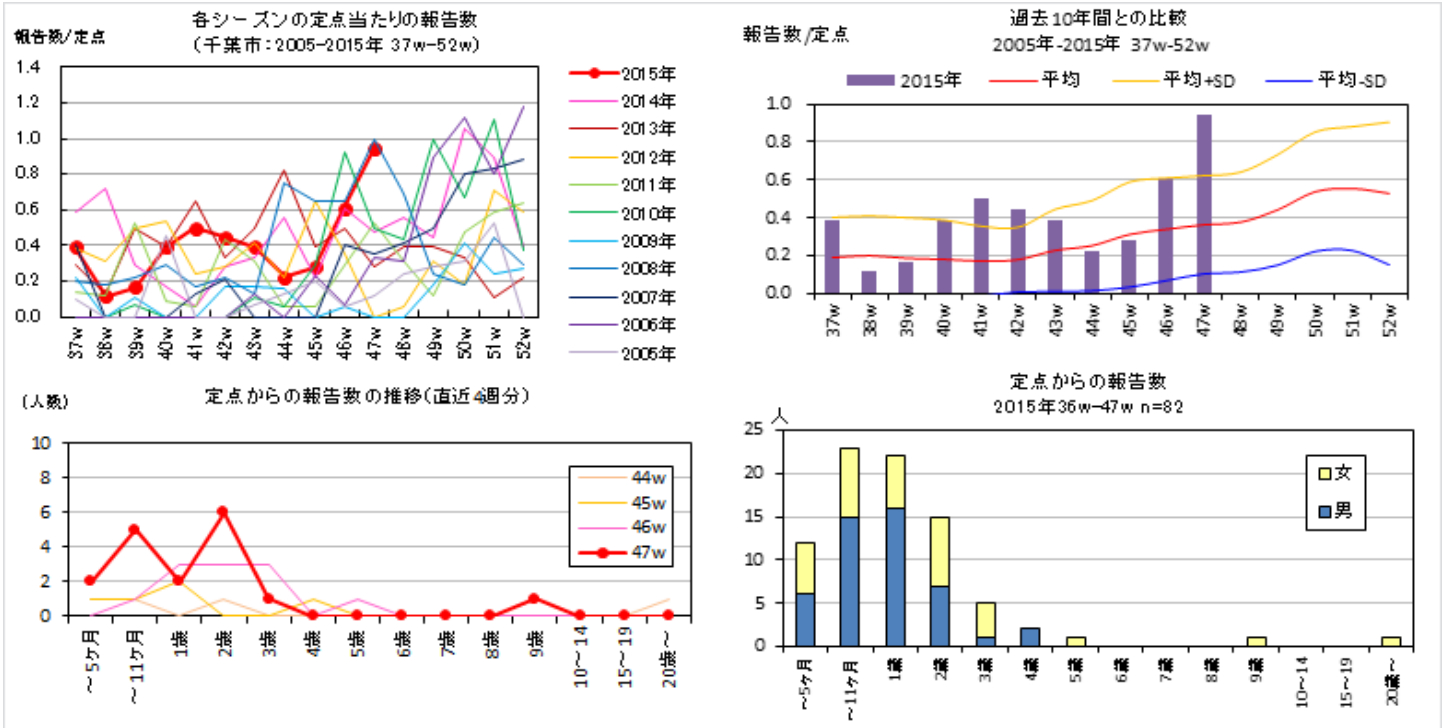
定点当たり報告数 第47週のコメント

- <RSウイルス感染症> 前週より増加し0.94となった。過去10年の同時期と比べると多い。
- <咽頭結膜熱> 前週より減少し0.50となったが、過去10年の同時期と比べると最多のまま。
- <感染性胃腸炎> 前週より増加し7.11となった。過去10年の同時期と比べるとやや少なめ。
- <流行性角結膜炎> 前週より増加し2.25となった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

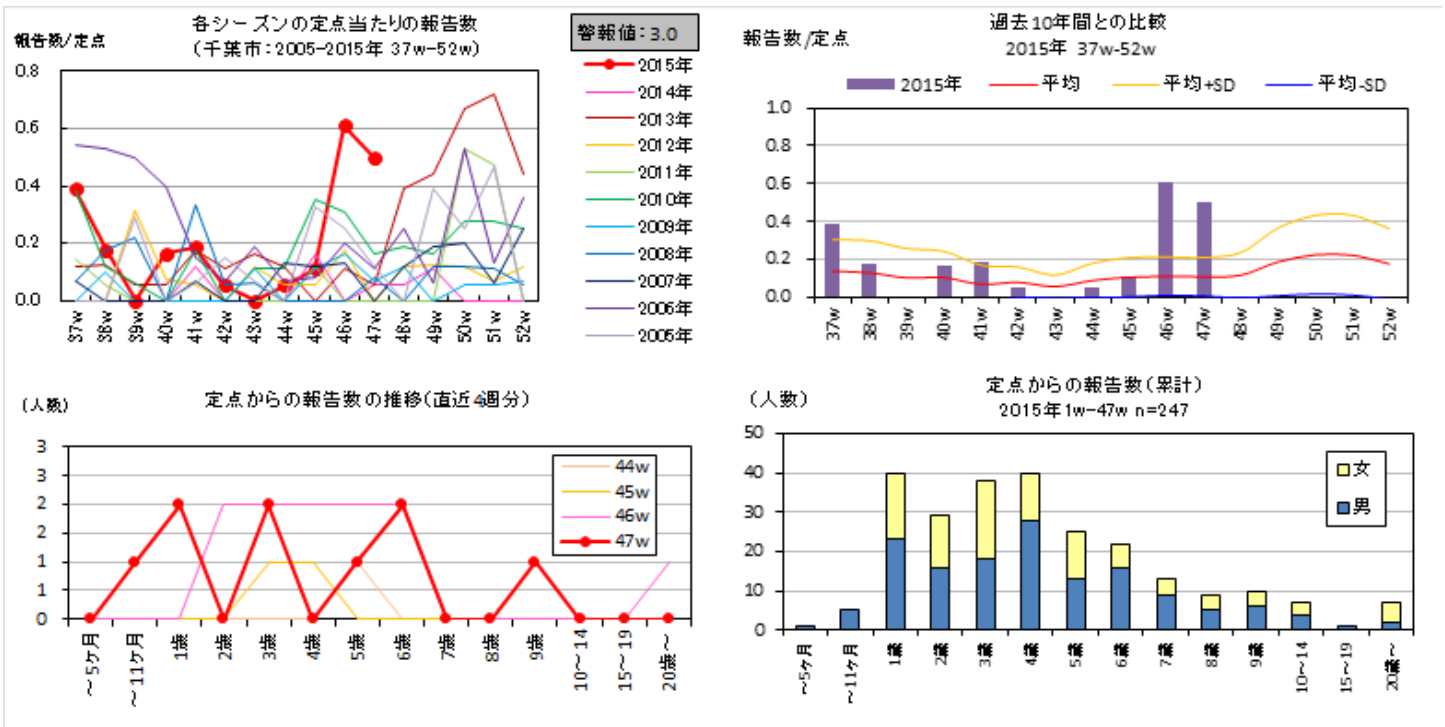
＜RSウイルス感染症＞

全国レベルの第46週現在は、過去8年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、山形県、福井県、富山県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより少なめとなっています。千葉市の2015年第47週は前週より増加し0.94となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、美浜区(1.5/定点)で最多で、同区の2歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2015年第36週から第47週までの累積報告数(n=82)によると、性別では男性が57.3%(47名)、女性が42.7%(35名)で、年齢階級別では6～11か月(28.0%:23名)、1歳(26.8%:22名)、2歳(18.3%:15名)の順に多くなっています。



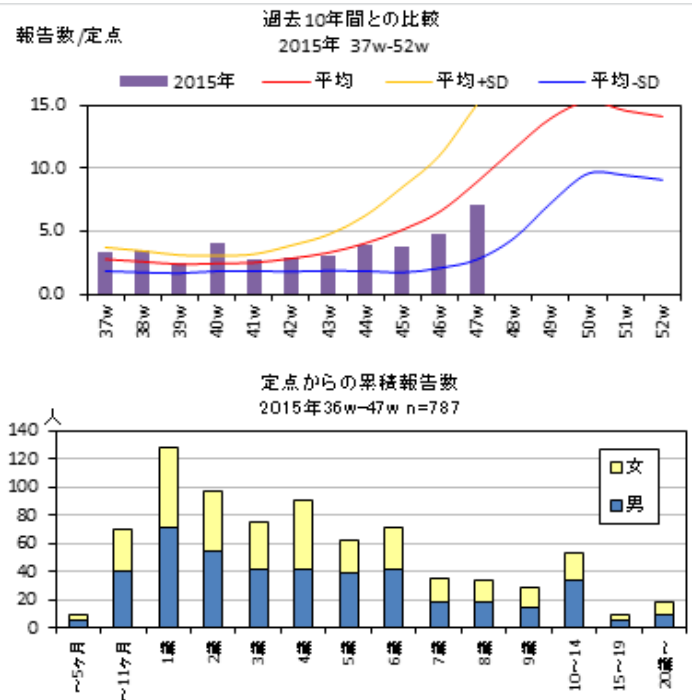
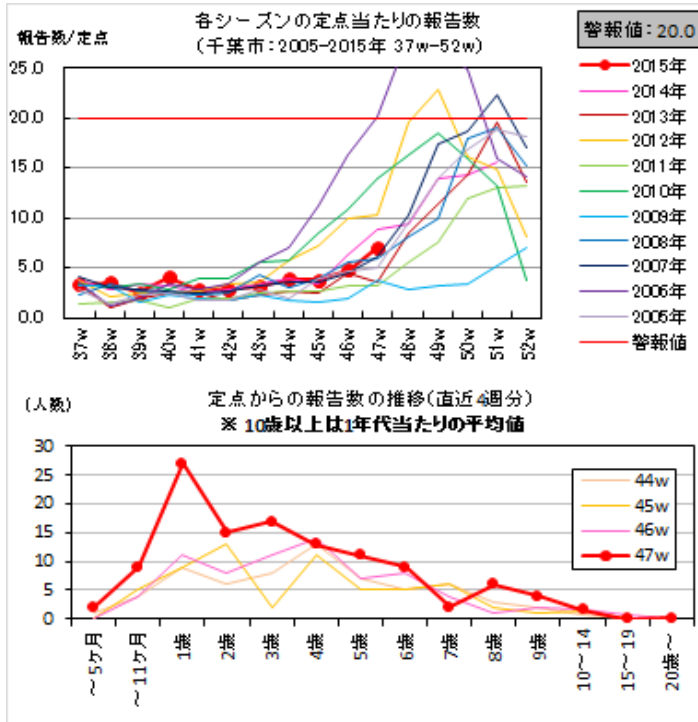
＜咽頭結膜熱＞

全国レベルの第46週現在は、過去8年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、鳥取県、新潟県、山形県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや多めとなっています。千葉市の2015年第47週は前週より減少し0.50となりましたが、過去10年の同時期と比べると最多のままとなっています。区別の発生状況は、若葉区(1.0/定点)で最多で、同区の1歳及び6歳で発生報告がありました。2015年第1週から第47週までの累積報告数(n=247)によると、性別では男性が59.5%(147名)、女性が40.5%(100名)で、年齢階級別では1歳及び4歳(共に16.2%:40名)、3歳(15.4%:38名)の順に多くなっています。



< 感染性胃腸炎 >

全国レベルの第46週現在は、過去8年の同時期のほぼ平均レベルとなっています。都道府県別では、鹿児島県、大分県、島根県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより少な目となっています。千葉市の2015年第47週は前週より増加し7.11となりました。過去10年の同時期と比べるとやや少な目となっています。区別の発生状況は、若葉区(12.5/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2015年第36週から第47週までの累積報告数(n=787)によると、性別では男性が55.9%(440名)で女性が44.1%(347名)で、年齢階級別では1歳(16.4%:129名)、2歳(12.3%:97名)、4歳(11.6%:91名)の順に多くなっています。



< 流行性角結膜炎 >

全国レベルは第34週から連続して過去8年の同時期と比べ最多の状況が続いており、第46週も同様となっています。都道府県別では、熊本県、大分県、鳥取県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや多めとなっています。千葉市の2015年第47週は前週より増加し2.25となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、花見川区(5.0/定点)で最多で、同区の60歳代から70歳代で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第47週までの累積報告数(n=191)によると、性別では男性が49.7%(95名)で女性が50.3%(96名)で、年齢階級別では30歳代(23.0%:44名)、40歳代(17.8%:34名)、20歳代(10.5%:20名)の順に多くなっています。

